

教弘会報

埼玉

No. 263

令和5(2023)年4月12日発行

最終受益者は子どもたち

編集・発行:



公益財団法人
日本教育公務員弘済会埼玉支部
株式会社 埼玉教弘

新年度スタート号



「4月最初の職員会議で生徒会による『私たちはこう育ちたい』宣言」所沢市立向陽中学校（本文 p.5）

巻頭言

動き出すまでが大変、でも動き出せば

～2つの摩擦係数の違い～

支部長 細田 宏

p.2

教育研究助成を受けた学校の中から

p.4

新設校記念品贈呈

p.4

私の授業づくり

川口市立本町小学校

教諭 海老澤 成佳 p.6

第12回 LCの訪問記

私の出会った素敵な学校

秩父市立吉田中学校 p.7

日教弘のしくみ・

HPのご案内 p.6

教育実践報告の募集

p.7

リスクへの備え・生活設計は立てられていますか？

p.8

令和5年度 参事のご紹介

p.2

弘済会埼玉支部事業計画

p.3

学校NOW

所沢市立向陽中学校

校長 沼田 芳行 p.5

読者プレゼント当選者の発表！

「勉強が面白くなる瞬間」

p.6

団体扱火災保険

p.8

生徒が主役になる学校づくり

※本会報に掲載された教職員の皆様の所属・職名等は令和5年3月末現在のものです。

(「学校NOW」p.5から)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 (以下「日教弘」) の会員になりましょう!

- ① 日教弘の会員になれるのは、当会の事業の趣旨に賛同する公立の学校・幼稚園、その他の教育機関に勤務する教職員及びこれに準ずる者、又はこれらの退職者です。
- ② 右記の二次元コードからも入会のお手続きができます。
- ③ 会費等費用は一切不要です。④ 入会された方には会員証をお送りします。

会員としてのメリット ▶ 会員になることで福利厚生サービス(「日教弘クラブオフ」)を利用することができます。

Webでの
入会は
こちらから





動き出すまでが大変、でも動き出せば

～2つの摩擦係数の違い～

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

支部長 細田 宏

理科の授業で「静止摩擦係数は動摩擦係数よりも大きい。」と学びました。このことは我々の日常生活や仕事の進め方にも通じるものがあるのではないかと、私は思います。

この3年間、思いも寄らなかった新型コロナウイルス感染拡大の防止に向けての学校現場では新しい対応が求められました。子どもたちの生命と健康を守ることを最優先として、学びを止めないために分散登校やリモート授業など、実に様々な取組が行われました。誰も経験したことがないことばかりで、最初は「そんなことができるのだろうか」と、私を含め多くの方々が心配し、不安を抱いていたと思います。

しかし、教職員の皆様方は、これらの課題に対して共通認識を持って、協力体制を構築し、具体的な役割分担を進めて見事に対応されました。今まさに、「動き

出すまでが大変、でも動き出せば」と感じているのではないのでしょうか。

4月、各学校では新入生や新転任者を迎えて、元気に新年度がスタートしました。そして、追われ続けたコロナ対応とは異なる新たな課題への挑戦、前向きでその解決が待ち遠しいような取組が始まろうとしていると思います。

まだまだ厳しい教育環境の中ですが、明日を担う子どもたちの健やかな成長のためにご尽力されている教職員の皆様です。当支部は、その崇高な志としっかりと心合わせをして、引き続き「最終受益者は子どもたち」の理念の実現に向け、「静止摩擦係数は動摩擦係数よりも大きくて、物事は動き出すまでは大変ですが、動き出してしまえば」と考えて、その役割を果たしてまいります。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度 参事のご紹介

(※は新任)

(敬称略)

参事は、教育の振興・発展と教職員の福祉の向上・充実のために、教育関係諸機関・団体に対し、弘済会の諸事業を説明して周知を図り、その理解を深めて協力体制を作ることを任務としています。

このため、学校、地区校長会等に対して「弘済会事業説明会」を可能な限り多く設定・実施することに努めています。

また、ジブラルタ生命保険株式会社の学校担当営業職員LC(ライフプラン・コンサルタント)と連携しながら学校への訪問を通して、奨学金の給付や研究助成金の申請と贈呈、昇任祝い等に関する業務を行っています。

退職した校長経験者の中から、現在15名の参事が活動しています。

高等学校・特別支援学校 担当参事

山本 達也※
前埼玉県立本庄特別支援学校校長



石川 一浩
前埼玉県立朝霞西高等学校校長



谷部 貴一
元埼玉県立川川高等学校校長



大竹 秀明※
前埼玉県立南稜高等学校校長



山田 明
前熊谷市立市田小学校校長



小河原 勝
元春日部市立幸松小学校校長



牧田 卓司
前鴻巣市立鴻巣中学校校長



中川 昇次
前さいたま市立片柳中学校校長



小学校・中学校 担当参事

山中 正広
前秩父市立秩父南小学校校長



宮井 俊充※
前所沢市立小手指中学校校長



忍田 壽生
前川島町立西中学校校長



平岡 健
元川越市立月越小学校校長



森 幹雄
前さいたま市立三室小学校校長



中山 明広
前川口市立岸川中学校校長



鈴木 寿一
元越谷市立北中学校校長



弘済会埼玉支部 事業計画

最終受益者は子どもたち
—教弘で、安心・安全・助け合い—

当支部では、教育の振興と教職員の福祉向上に寄与するため、今年度も下記の諸事業の充実に努めてまいります。

プロモーションビデオを
視聴できます。
ぜひアクセスして
みてください!!



二次元コードから埼玉支部の
主な活動がご覧になります。

本県教育の振興を支援

奨学事業 —学資をバックアップ—

① 奨学金の貸与

国公私立大学・短大・高専・専修学校専門課程・大学院に入学するとき又は、在学中、修学年数1年につき25万円、最高100万円を無利息で貸与します。

② 奨学金の給付

- 中学3年生、高校生2・3年生で保護者が経済的に困窮しており、修学意欲旺盛な生徒には、選考の上、5万円・10万円・20万円を給付します。(他にも条件あり)
- 修学意欲があり、かつ学資金の支払いが特に困難と認められる者で、大学への進学が決定した高校3年生(特別支援学校生徒を含む)を対象に、返済義務のない奨学金(月額3万円を4年間)を給付。(給付は令和6年度から。他にも条件あり)

教育文化事業

—教育文化活動等を援助—

- 教育文化講演会への助成
- 教育文化事業への助成
- 特別支援学校への支援
 - ・「ハートフル コンサート」の実施
 - ・「ハートフル コラボ」の実施
- 生涯学習実践作文の募集
- 教弘文庫の刊行と配布

教育研究助成事業 —教育研究・実践を助成—

- 教育実践報告の募集 ● 学校課題研究助成 ● 環境教育支援 ● 国際理解教育支援 ● キャリア教育支援 ● 防災教育支援
- ICT活用教育支援 ● 教育関係団体への助成 ● 連合教育研究会等への助成 ● 全国・関東ブロック研究大会への助成
- 「研究・実践成果報告集」の刊行と配布 ● 「はばたき」応援プロジェクトの実施

教職員の福祉向上を支援

福祉事業 —豊かな暮らしをサポート—

教弘保険は、公益財団法人日本教育公務員弘済会の会員の方だけが加入できます。

教弘保険の特長

- ① 教職員の皆様の相互扶助を目的に開発された保険です。
- ② 教弘保険に加入されますと各種福祉事業、特典をご利用になれます。

教弘保険に加入すると次のような特典があります。

祝品・記念品の贈呈

- 結婚祝品(商品券)
- 出産祝品(図書カード)
- 新規教弘保険加入者記念品(図書カード)
- 現職の教弘保険継続者記念品
 - 5年・10年 } …(図書カード)
 - 15年・20年 }
 - 25年・30年 }

結婚相談

- 当支部は「(株)ツヴァイ(結婚相手紹介事業)」の法人会員になっていますので、教弘保険加入者・家族は、一般価格から11,000円割引で入会できます。
※プライバシー厳守

健康保持増進

- 現職の教弘保険加入者
人間ドック、脳ドック、婦人科検診受診者へ補助金(2,000円～5,000円)
- 退職した教弘保険加入者
人間ドック、脳ドック、婦人科検診受診者へ補助金(2,000円・5,000円)、大腸がん検診等
- 「サッカー(浦和レッズ)観戦チケット」及び「映画鑑賞券(ユナイテッド・シネマ、イオンシネマ)」の贈呈【抽選による】

弘済会埼玉友の会

- 友の会入会記念品(商品券)
- 「映画鑑賞券(ユナイテッド・シネマ、イオンシネマ)」の贈呈【抽選による】
- 退職後の生きがいや健康づくり、各種事業への参加
※退職時に友の会会員資格を有する保険に加入している方が対象

宿泊施設・宿泊補助

- 宿泊施設の提供(教弘保険加入者・同行家族等1人2,200円から)
- 宿泊補助
教弘保険加入者…「利用券」による割引(1泊3,000円)※年度内2泊まで
※7月～8月の宿泊者は、1泊5,000円
※日教弘指定施設及び当支部協定施設(旅館・ホテル・ペンション・民宿等)での宿泊に限る。
[詳細は「宿泊施設の一覧」をご覧ください。]

介護施設の紹介

- 当支部は「ALSOK介護(株)」と協定していますので、教弘保険加入者・家族は、ALSOKの介護施設が優待料金で利用可能です。 ※プライバシー厳守

弔意

- 亡くなられた教弘保険加入者へ御香典を送ります。

詳細は当支部発行の「事業一覧」をご覧ください。お電話でお問い合わせください。TEL 048-822-7554(教育振興・福祉課)

共済事業(提携保険事業)

教弘保険は、教育関係職員だけが加入でき、保険料は年齢・性別にかかわらず一律で、集団契約特約を付加することにより割安となっています。ユース教弘保険、新教弘保険、新教弘保険医療α、新教弘介護保障付終身保険等、皆様のニーズに応える商品を取り扱っています。

参事の活動と広報紙の発行

上記の事業推進にあたり、15名の参事が学校等教育関係機関を訪問して事業内容を直接説明し、教職員の皆様に理解を深めていただくための活動の更なる充実に努めています。

また、全教職員に配布する「教弘会報埼玉」(年間6回発行)と「教弘会報埼玉かわらばん HAPPY VOICE」(年間3回発行)は、親しまれる紙面づくりを推進し、その充実に努めています。

損害保険事業

自動車保険、火災保険、まなびやスーパープラン、ゴルフ保険等、各種損害保険を取り扱っています。その他、建物本体価格・リフォーム工事価格が5%割引の住宅紹介、金利がお得な住宅ローン紹介、一般料金より最大55%割引のレンタカー優待利用、おクルマ購入サポートもあります。なお、県内一部地域において、提携損害保険代理店も自動車保険等の新規募集活動を行っています。

初任者研修会等で諸事業を説明

当支部では平成29年度から、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会・中核市主催の初任者研修会等の受講者に、奨学・教育研究助成・教育文化の各事業を中心に弘済会の諸事業について説明しています。数多くの事業を実施し、各学校の教育活動を支援している当支部を知っていただきたいこと、子どもたちのために、それらの諸事業を活用して日々の教育実践に取り組んでいただきたいことなどをお伝えしています。

令和4年度に教育研究助成を受けた学校の中から

学校課題研究助成事業 八潮市立大原小学校



「トリオ学習」で考えを述べ合う児童

キャリア教育支援事業 狭山市立柏原中学校



「進路学習発表で『キャリア年表』を発表する生徒」

国際理解教育支援事業 埼玉県立杉戸高等学校



「中国の高校とのオンライン交流」(画面の中が杉戸高校生)

Q.1 具体的な研究の取組はどのようなものでしたか？

A 全学年「全文シート」を活用し、構成を視覚的に理解できるようにしました。また、全員発表を目指し、トリオ学習の充実やハンドサインにより意見をつなげる学び合いの授業を研修しました。

A 子どもたちの自己実現に向けて、授業の見直しや講演会、夢リストの作成、キャリア・パスポートの活用、掲示物の工夫等を行いました。

A 中国の生徒とのオンラインによる交流、全一年生に対する一日 All English の実施、青年海外協力隊参加者の講演会、バングラディッシュの留学生の受入を行いました。

Q.2 研究の成果や課題について、児童・生徒の変容も含めてお聞かせください。

A TK 式学力テストでは、国語「読むこと」の領域で全国平均を上回る学年が増えました。(R3 2つの学年→R4 5つの学年)

A 子どもたちの今後の生き方やキャリアプランを意識したことで、日頃の学習意欲が向上しました。

A 学習意欲の向上に加え、国によるコロナ対策の違いを実感することができました。

Q.3 教育研究助成金はどのように活用しましたか？

A 学習の習熟を図るため、国語のプリント集を学年ごと購入しました。

A 研究掲示物や研究発表冊子作成の費用に使わせていただきました。

A オンライン交流の環境整備等に活用させていただきました。

新設校記念品贈呈

令和4年4月1日に開校した次の学校に、当支部から記念品を贈呈しました。

越谷市立蒲生小学校



越谷市立蒲生小学校は、(旧)蒲生小学校と(旧)蒲生第二小学校が統合し、2校の歴史と伝統を受け継ぎ、新・蒲生小学校として、開校しました。

そして、全児童数 924 名、教職員 55 名、34 学級(通常学級 28 学級 支援学級 6 学級)でスタートしました。

令和4年10月20日(木)、校長室にて、新設校記念品贈呈式を行い、細田支部長から佐々木校長先生へ「目録」、代表児童へ「陸上競技大会用ユニフォーム」を贈呈いたしました。市内の陸上大会等で蒲生小の児童の雄姿が躍動することが期待されます。

県立春日部特別支援学校宮代分校



県立春日部特別支援学校宮代分校は、県立宮代高校内に県立春日部特別支援学校の分校(高等部)として、開校しました。令和4年度は、1学年16名でスタートしました。

令和4年12月20日(火)真新しい多目的室にて、新設校記念品贈呈式を行い、細田支部長から台校長先生へ「卒業証書授与式」横看板を贈呈いたしました。台校長先生から、一期生の生徒に横看板を紹介した折に、「3年後の卒業をしっかりと見据えて学習に励みましよう。」と激励をいたしました。

県立上尾特別支援学校上尾南分校



県立上尾特別支援学校上尾南分校は、県立上尾南高校内に県立上尾特別支援学校の分校(高等部)として、開校しました。令和4年度は、1学年13名でスタートしました。

令和5年1月26日(木)真新しい多目的室にて、全生徒・教職員参加の下、新設校記念品贈呈式を行い、細田支部長から竹野谷校長先生へ「スタンドミラー」を贈呈いたしました。

代表生徒さんから、「校内はもとより、立派な社会人になれるよう日頃から身だしなみを整えていきます。」と力強いお言葉をいただきました。

誰もが安心して過ごせる学校 ～自律・貢献・共生～



校舎写真



所沢市立向陽中学校

(〒359-1103 埼玉県所沢市向陽町 2124 番)

生徒数：656 名 学級数：18

TEL 04-2923-7201 FAX 04-2923-7202

<https://kouyou-jh-tokorozawa-stm.edumap.jp/>

本校は、目指す学校像「誰もが安心して過ごせる学校」、目指す生徒像「自分で考え行動できる生徒」のもと、自律する子どもたちを育てています。主役は子ども、生徒と創る、を合言葉に日々の教育活動を営んでおり、様々な場面において子どもたちの声を聴きながら、これまでの学校のよさを大事にしながらビルド アンド スクラップ*をし、これからの学校を営んでいます。

(校長 沼田 芳行)

*「これを作り上げるのだから、このことがいらなくなる」の観点で進めています。新たな取組を企画した場合、キャパシティを考えると小さくしなければならないことが見えてきて、物事が進めやすくなるという意図から「ビルド」が先、そこから捨てていくので「スクラップ」が次という順になります。(沼田校長先生談)

●生徒が主役になる学校づくり

「主役は子ども」の言葉の通り、令和4年度は、生徒が教職員・地域・保護者の大人と対話する会「井戸端会議」を開きました。話し合いのテーマは「自律」。子どもも大人も夢中になってとことん話し合いました。「どうしたら自律しているかな?」「そのために何をしてきた?」「大人としてどう考えます?」世界はふくらみ、生徒自身の未来像が見えてきました。その布石として月2回、武蔵野美術大学とタイアップし、ICT 機器を使って対話型朝鑑賞に全校で取り組み、「考える→考えたことを口にする」を実践しています。



井戸端会議の様子

生徒の声

対話型朝鑑賞の様子



こうして大人の方とテーマに沿って話すことは初めてでしたが、とても新鮮でした。思っていることを口にしてみるとなんだかすっきりしました。

●学校の決まりごと自分たちで決めてみる

本校の学校教育目標「自律・貢献・共生」は令和2年に当時の生徒会と校長とで何度もミーティングを重ねながら決めました。生徒自身が参画してつくった目標なので、自尊心が生まれています。学校生活のきまりごとの改編にも生徒が参画し、見直しています。令和4年度から、大人の力も借りて制服検討委員会を立ち上げ、校服(体育時の服装含む)について考えています。令和5年度は、制服そのものを考えるために夏季と冬季に私服で過ごすウイークリーを設けることにしました。体育祭や合唱コンクールなどの学校行事も企画の段階から生徒が加わり、毎年、リメイクするなど参画意識を高め、自律につなげています。



生徒の声

私の考える「自律」

「学校教育デザイン」について校長先生と話し合う生徒会本部役員



自分たちの生活のことを自分たちの目線で話し合うことは、意見がたくさん出てきて面白かったです。人の気持ちを考えることってあまりしたことがありませんでしたが、そういうことが大事なんじゃないかと思いました。

●SDGs を見据えた総合的な学習の時間

9教科で学んだ力を教科横断的に生かす総合的な学習の時間は、生徒の探究心をくすぐる素敵な時間です。どの学年も世界を変えるための17の指標であるSDGsの目標をコンセプトにしています。1年生は職場体験に代わるアントレプレナーシップ教育としての「起業ゼミ」を行い、身近な課題を解決する仕事を起こしました。2年生は修学旅行へ向けての調べ学習を通して旅行会社と実際にタイアップし、顧客を想定した旅の企画を考え、成果物にしました。3年生はSDGsの目標そのものの視点で、課題を解決する架空の会社を立ち上げ、その取組をさまざまな視点から考えてみました。

* アントレプレナーシップ教育:

チャレンジ精神、創造性、探究心等の「起業家精神」や、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力等の「起業家的資質・能力」を育む教育 [中小企業庁HPから]



生徒の声

起業ゼミのプレゼン

自分たちでアイデアを考え、リサーチもして業種を起こすことがとても楽しいことだと知りました。顧客があって、そのニーズにこたえられる。結果、幸せにつながる。そんな流れをつかむことができました。

「私の授業づくり」

小学校 社会科



川口市立本町小学校
教諭 海老澤 成佳



1. つながる社会科

「社会科で大切なことは暗記ではなく、なぜ?と思ったことをみんなで考えること。」「たくさんの方が世の中のために頑張っていた。今度は自分が世の中をよりよくするために頑張りたい。」これは、以前担任した6年生の、最後の社会科授業の振り返り文です。子どもたちが社会科を学ぶ意義を見出し、よりよい社会をつくっていかうとする思いをもつことができるよう、私は「つながる社会科」をテーマに、授業づくりを行っています。

2. 授業で大切にしている4つの「つながる」

① 問いと対話でつながる社会科

単元の導入で「なぜ?」といった問いが生まれるよう資料提示を工夫し、子どもの思考がにつながるようにしています。また、「一番大切なことは何?」など、思考を揺さぶる発問をすることで多様な考えを引き出し、対話を通して、子どもたち同士で考えをつなげ合う授業を心がけています。

児童の感想
友達の考えと自分の考えをつなげて、考えを広げたり深めたりすることができるようになりました。

② 過去の学びと新たな学びがにつながる社会科

既習が結び付く学習展開を大切にしています。「これまでの学習とつながることは?」という視点で課題と向き合わせ、「〇〇の学習とつながっているね!」と気付かせること

児童の感想
前の学習とつながっていることに気付くようになってから、社会科がとても楽しくなりました。

で、「学んだことは生かせる」という実感がもてるようにしています。

③ 学んだことと自分がつながる社会科

単元の終末に「今回の学習で“自分”はどこにいる?」と問います。そして、作成した関係図や年表等に『自分』を書き加えさせます。このことで、子どもたちは学んだ内容と自分自身のつながりや、自分の立場(地域の一人、消費者、有権者、歴史の積み重ねの上に生きる一人等)に気が付くことができます。

児童の感想
社会科で学んだことは、全て私たちの生活とつながっていました。だから、私たちが少しでも意識して行動していけば、世の中はもっとよりよくなると思いました。

④ 本物(者)とつながる社会科

郷土資料館と連携し、土器や戦争遺品等、本物に触れる機会を大切にしています。“物言わぬ本物”は、教科書以上に、多くのことを子どもたちに伝えてくれます。また、地域の方に進んでゲストティーチャーをお願いしています。地域のために実際に工夫や努力をしている方の姿は、地域への誇りや愛情につながります。本物(者)とつながる体験は、子どもたちにとってかけがえのない学びだと考えています。



本物の戦争遺品と真剣に向き合う



問いの解決に向けて友達と進んで対話する

児童の感想
本物の戦争中のものを見て、戦争が“本当にあった出来事なんだ”という実感がわきました。戦争のおそろしさや平和の大切さを、私たちが伝えていかなければいけないと強く思いました。

3. 私が信じる社会科の力

今年、開校150周年を迎える本校の子どもたちには、“地域や歴史とのつながり”をより大切にしようとする思いが芽生えています。このような“つながりへの意識”は、様々な教育活動でも育むことができますが、社会科が果たす役割はやはり大きいのではないのでしょうか。人や地域とのつながりを大切に、過去や今をよりよい未来につなげようとする見方・考え方を育む力が、社会科にあると信じています。これからも、子どもたちと共に学びながら、“つながる社会科”の授業づくりに励んでいきます。

弘済会埼玉支部 HPのご案内

(<https://www.kyoko.or.jp>)

是非アクセスして
みてください!!



弘済会の6大事業

奨学・教育研究助成・教育文化・
福祉・共済(提携保険事業)・
損害保険の各事業の情報を
ご確認いただくことができます。

「教育研究助成事業」の申請書や報告書の各様式を掲載していますので、作成に便利です。

当支部の主な事業の成果をまとめた「プロモーションビデオ」をご覧ください(約4分)。

日教弘のしくみ



※ 弘済会の各種公益事業は、教弘保険の契約者配当金を事業資金として運営されており、本県教育の振興に寄与しています。

「読者プレゼント」当選者の発表

「教弘会報埼玉 No.261」掲載の

『勉強が面白くなる瞬間』

パク・ソンヒョク 著 吉川南 訳 ダイアモンド社

たくさんのご応募ありがとうございました。

当選者 伊勢 和晃 (坂戸市立坂戸小学校) 大胡 真嗣 (さいたま市立七里中学校) 水嶋 あかね (三郷市立新和小学校) (敬称略・順不同)

★プレゼントの当選は年度内1回とさせていただきます。

| ご逝去 | ご尊名 | 所属等 | ご逝去 | ご尊名 | 所属等 | ご逝去 | ご尊名 | 所属等 |
|------|-----------|------------|-----------|------------|----------|------------|-----|-----|
| 令和4年 | | | 12月 | | | 令和5年 | | |
| | 10月 鈴木 昭平 | 友の会(さいたま市) | 12月 石井 邦子 | 友の会(坂戸市) | 1月 西田 光作 | 友の会(宮代町) | | |
| | 11月 中田 和子 | 友の会(小鹿野町) | 市瀬 義昭 | 鴻巣中学校 | 本木勇之助 | 友の会(さいたま市) | | |
| | 八木原 巖 | 友の会(行田市) | 猪野 健治 | 友の会(春日部市) | 矢沼 春枝 | 友の会(本庄市) | | |
| | 12月 荒巻 敦子 | 友の会(東松山市) | 栗原 洋子 | 友の会(さいたま市) | 山崎登美枝 | 友の会(久喜市) | | |
| | 安藤 一郎 | 友の会(小川町) | 杉田 明美 | 友の会(加須市) | | | | |
| | | | 山崎 純 | 友の会(ふじみ野市) | | | | |

(敬称略)

LCの訪問記 私の出会った素敵な学校



第12回

秩父市立吉田中学校

秩父営業所
LC(ライブプラン・コンサルタント)
みかみ たかし
三上 喬

ジブラルタ生命保険(株)
秩父営業所
所長 若林 正基
〒368-0032 秩父市熊木町11-5三原第六ビル4F
TEL 0494-23-5469

今回紹介させていただく学校は、令和4年度「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞した秩父市立吉田中学校です。

現在の取組について矢口校長先生に伺ったところ、開口一番、「目指す学校像である『吉田に学び 吉田を誇る 笑顔・感動・夢のある元気な学校』ここに力を注いでいます。」との事でした。

具体的な取組として、1年生では地元農家の中嶋さん夫妻の指導を受け、学校近くの畑で秩父在来種の「借金なし大豆」の栽培に取り組んでいるそうです。種植え・収穫・味噌づくり、その後、1年をかけて熟成させ給食の食材として活用するなど特色ある教育活動を展開しています。



「借金なし大豆」の畑



枝豆の収穫

また、吉田地域には歴史ある伝統文化も多く、2年生では真布禰神社神楽を保存会

の方々から子どもたちへ指導していただき、練習の成果を例大祭で奉納しています。3年生では、吉田町を代表する「龍勢祭」(国重要無形民俗文化財)で口上も披露したとのことでした。伝統文化を子どもたちへ継承していくことも大切に考えています。

校長先生は、「そうした関わりの中で地域のためにできる事を自分で考える一歩になってくれれば」と力強く語っていました。

今回の取材を通して、生徒一人一人が生き生きと地域の方と関わっている姿が目に見え、夢のある元気な学校であると実感いたしました。私も学校担当として先生方のお役にたてるよう日々精進してまいります。



左から 三上LC 中嶋さんご夫妻 矢口校長先生

令和5年度「教育実践報告」の募集について

教職員の皆様から多数のご応募をお待ちしています。



令和3年度から、若手教職員(年齢35歳未満の教職員等)の皆様を対象とした「ヤング部門」を新設しました。令和5年度も下記の通り、「ヤング部門」「一般部門」「学校部門」の各部門へ、多くの教職員の皆様から応募いただきますようお願いいたします。なお、本事業は、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県公立小学校校長会、埼玉県中学校校長会、埼玉県高等学校校長協会から後援をいただいております。

1 趣旨

埼玉県内各学校・教育機関における個人(グループを含む)または学校を対象として、優れた教育実践を表彰し、研究助成金を贈呈するとともに、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布して、本県教育の振興に寄与する。

2 応募部門

- (1) ヤング部門 年齢35歳未満の教職員等の個人を対象
 - (2) 一般部門 年齢35歳以上の教職員等の個人及びグループ(年齢は不問)を対象
 - (3) 学校部門 埼玉県内の学校を対象
- なお、(1)、(2)における年齢の基準日は、令和5年4月1日とします。

3 実践・研究の分野とその対象

- (1) 教科指導を主とするもの…ヤング部門、一般部門(グループを含む)、学校部門
- (2) 教科指導以外の分野の指導に関するもの…ヤング部門、一般部門(グループを含む)、学校部門
- (3) 学校運営、学校間連携、保護者・地域社会との連携などに関するもの…学校部門

4 応募要件

- (1) 応募は、実践に基づくものとし、ヤング部門、一般部門(グループを含む)の場合は、個人1人(1グループ)につき1編、学校部門の場合は、学校1校につき1編の応募とします。
- (2) 公的機関等への研究委嘱等に関わる報告書、研究会・市販の図書・教育誌等に既に発表したものと及び他団体に応募済みのものは応募できません。
- (3) 過去3年以内(令和2年度から令和4年度)の優秀賞・優良賞の受賞者は応募できません。
- (4) 応募された原稿の著作権は当支部に帰属し、提出いただいたもの(写真等を含む)は返却しません。

5 応募形式及び「応募要件確認書」

- (1) 表紙に、1.「上記2」の部門(1)ヤング部門、(2)一般部門(グループ含む)、(3)学校部門のいずれの応募であるか、2.「上記3」の分野(1)、(2)、(3)のいずれであるか、3.所属校・職名・氏名(グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名)、4.研究主題、5.研究副題、6.研究の要旨(800字以内)を記入します。
- (2) 2ページ目は、初めの6行分を用いて、研究主題、研究副題、所属校、職名、氏名(グループの場合は代表者名、学校の場合は校長名)を記入します。本文は、7行目から書き出します。A4判の用紙を横書き・

縦長で使用し、1枚につき、24字×43行×2段組(フォント10.5)のパソコン印字によるもの4枚以内(写真、図表等すべての資料を含む。)とし、文章化(日本語による。)することとします。パワーポイントは不可とします。

上記(1)、(2)は当支部HPよりワード文書にて入力可能です。

- (3)「上記4」の(2)及び(3)を確認するための「応募要件確認書」を提出します。
- 当支部HPよりダウンロード(PDFデータ)にて出力可能です。
- (4)応募形式を大幅に逸脱する場合には、審査の対象とならないことがあります。

6 応募期限 令和5年9月1日(金) 必着

(上記5-(1)、(2)、(3)を簡易書留でお送りください。)

7 審査及び審査基準

- (1) 審査・選考は、(公財)日教弘理事長が委嘱する審査委員が行い、支部長が決定します。
- (2) 審査基準 ①内容が、当面する教育課題に対する取り組み、実践であること。
②実践の成果として、児童・生徒や学校、地域社会等の変容が具体的にみえること。
③実践に傾けるひたむきな努力や熱意が感じられること。

8 表彰等

ヤング部門、一般部門(グループを含む)、学校部門ごとに(1)のとおり表彰します。

- (1)「優秀賞」数編に各10万円、「優良賞・佳作」数編に各5~1万円を贈り、入選以外の応募者には記念品を贈呈します。
- (2)優れた実践報告は、教弘文庫「教育実践報告集」として刊行し、県内各学校・教育機関に配布します。
- (3)「優秀賞」の中から数編を「日教弘教育賞」論文募集(後援:文部科学省)に推薦します。

9 応募・問い合わせ先

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-24
https://www.kyoko.or.jp/ 電話:048-822-7554
公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部 教育実践報告係

10 その他

募集により取得した個人情報、当事業実施のための連絡等以外には使用いたしません。

リスクへの備え・生活設計は立てられていますか？

生命保険文化センターの「生活保障に関する調査」（2022年10年発行）によると、具体的な生活設計を立てている人は約4割「表1」、その中から生活設計を立てている期間を尋ねると、平均期間は14.8年となっております。「表2」

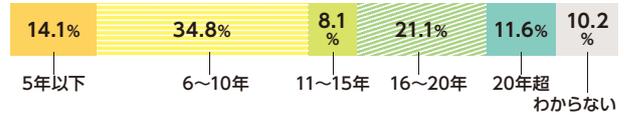
いつでも誰にでも起こりうる「死亡」「高度障害」「病気」「老後」等のリスクは、教職員の皆さま自身の生活設計を変えてしまう可能性があり、そして不利益や損失を被る事も考えられます。

取り巻くリスクを認識し、事前に対処する方法をジブラルタ生命の「LC サービス」で確認してみませんか？

【生活設計の有無】「表1」



【生活設計の期間】「表2」平均14.8年



「表1」「表2」いずれも生命保険文化センター「2022(令和4)年度生活保障に関する調査」から

生命保険は、このようなリスクを経済的にカバーする手段の一つです。ご自身・ご家族の将来への備えを始めましょう！

20代

教職員として就職、そして結婚。死亡保障とともに不慮の事故にも対応する保障(高度障害等)を考えましょう。

30代

子どもが生まれ家族への責任が重くなります。子どもへの教育資金、住宅購入資金等々を始めるこの年代は必要保障額が大きくなります。

40代

教育・住宅資金等は30代の時より更に資金が必要。加齢に伴い医療保障の充実を考えなければなりません。その他にも老後資金についてもそろそろ準備を始めましょう。

50代

子どもの教育資金がピークを迎え、老後資金準備も重要な年代です。加齢に伴う健康不安から、医療保障の必要性も高まり、夫婦どちらかの親の介護に取組む場合もあります。

LC サービスについては、共済事業(提携保険事業)提携保険会社のジブラルタ生命保険の学校担当 LC (ライフプラン・コンサルタント)にお声かけください。

埼玉県内教育関係職員およびそのご退職者の皆さまへ

本当に安心できる補償を一緒に確認してみませんか？

お見積りをご依頼くださった方に、もれなく**1,000円相当のボールペン**プレゼント！

※ 既に埼玉教弘または埼玉教弘提携損害保険代理店でご契約の保険の対象、過去に見積りのご依頼をいただいた保険の対象は除きます。

団体扱火災保険 (新・教弘火災保険)

「新・教弘火災保険」では、東京海上日動火災保険の「トータルアシスト住まいの保険」をご案内します。

約**10%**割安

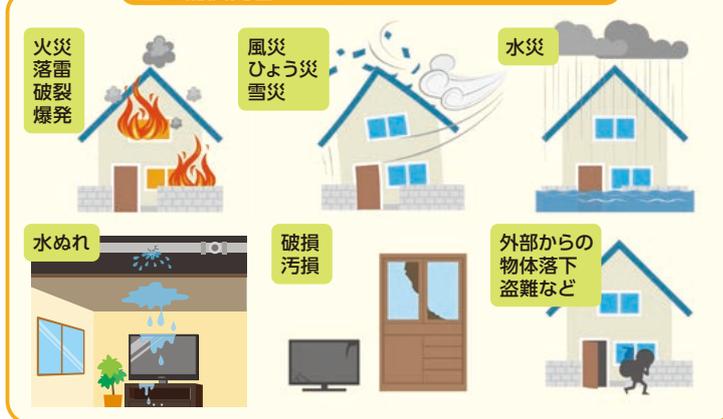
(注1) (注2)

注1: 団体扱分割払(月払)契約の場合、一般分割払契約に比べ「分割割増(5%)なし」となります。また当団体においては上記適用後の金額に大口団体割引5%が適用されます。

注2: 大口団体割引5%は2022年10月1日から2023年9月30日までの期間内に保険期間の始期日を有する契約に適用されます。割引率はその団体の火災保険の契約件数をもとに毎年見直されます。

火災のほか最近増加している豪雨等の災害や地震...
大切な住まいの万が一に備えていますか？

主な補償内容(補償内容はプランによって異なります)



プラス

地震保険

をセット

(単独では加入できず火災保険とセット)

※ この広告は概要を説明したものです。ご契約にあたっては必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をあわせてご覧ください。また、詳しくは「ご契約のしおり」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

引受保険会社 **東京海上日動** Total assist
住まいの保険

22-TC06350 (2022年11月承認)

お問合わせ 株式会社 埼玉教弘 損害保険課 TEL 048-822-7553 (直通) 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 埼玉教育会館 7階

令和5(2023)年
4月12日発行

公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部
<https://www.kyoko.or.jp/>

株式会社 埼玉教弘
<https://www.kyoko.co.jp/>

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 3-12-24 TEL 048-822-7551 (代表) FAX 048-834-0550

◆ 次号 教弘会報埼玉 No.264 は
令和5(2023)年6月16日
発行予定です。

印刷 関東図書株式会社 TEL 048-862-2901